

ボランティア定期預金

一九九六年に中国銀行が「AMDAボラ
ンティア定期預金」を発足させた。

金融機関にとって社会的信用は命であ
る。AMDAは九年のNPO法人設立ま
では任意団体であり、もし、AMDAにス
キャンダルが起きたとすれば、中国銀行に
とって致命的になる可能性があった。

誰が清水の舞台から飛び降りてくれたの
か。当時の頭取（現参与）、稲葉侃爾氏だ
った。そして、米・ニューヨークのマンハ

AMDA代表

菅波 茂

ッタンにある中国銀行の駐在員事務所に、
AMDAニューヨーク事務所機能の設置を
お願いした。「いいよ」と、二回も飛び降
りてくださった。その瞬間に岡山大学長だ
った谷口澄夫先生の面影が重なった。

昨年夏、AMDAは国連経済社会理事会
（ECOSOC）「総合協議資格」を取得。
本格的な国連での政策提言活動を開始する
予定である。

九〇年に始まった湾岸戦争の時、多国籍
軍に百三十億ドルも提供した日本に対し、ク
ウェートからの感謝はなかった。「顔の見
えない日本」のパンックが日本中を襲った。
外務省はNGOへの助成を強化した。ただ
し、精算払いだった。AMDAの短期年度
内借入金が最も多額の時には一億五千万円
も個人担保で中国銀行から借りた時期があ
った。関係者のご厚意にあらためて感謝し
たい。

稲葉氏は井原市高屋のご出身である。偶
然か否か、私の生まれた広島県神辺町（現
福山市）は隣である。ご先祖同士のお付き
合いがあったのかもしれない。ちなみに、
私の母校である福山誠之館高の大先輩でも
ある。

公正とは意欲と能力があれば、機会を与
えて結果を出させることである。意欲はあ
るが、能力が未知数の時はどうするのか。
機会を与えるのが原則であるが、失敗に終
われば機会を提供した人を滅ぼすこともあ
る。「AMDAボランティア定期預金」は
まさに感謝と緊張のシンボルである。